

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 3 区分

【発行日】平成23年8月4日(2011.8.4)

【公開番号】特開2009-297883(P2009-297883A)

【公開日】平成21年12月24日(2009.12.24)

【年通号数】公開・登録公報2009-051

【出願番号】特願2008-158138(P2008-158138)

【国際特許分類】

**B 2 5 H 3/00 (2006.01)**

【F I】

B 2 5 H 3/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成23年6月17日(2011.6.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

端部同士を合わせ固定した接合端を有するループコードと、  
前記接合端がインサート成形されて固定支持する、該接合端よりも大径の止め球とを備えたことを特徴とする工具吊り下げ用連結装置。

【請求項 2】

請求項 1 記載の工具吊り下げ用連結装置において、  
前記端部同士を合わせ固定した接合端には接合固定塊が設けられループコードのインサートの抜け止め端を形成していることを特徴とする工具吊り下げ用連結装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 0】

本発明の目的は、上記従来の吊り下げ用連結装置における問題に鑑み、端部を抜け止め形状に接合したループコードとこれをインサートとして受け入れた状態で固定支持する止め玉のみで構成し、部品点数の増加や作業性の悪化を防止して作業者と工具とを連結することができる工具吊り下げ用連結装置を提供することにある。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 1】

この目的を達成するために、本発明は次の構成よりなる。

(1) 端部同士を合わせ固定した接合端を有する縋り線が用いられたループコードと、  
前記接合端をインサート成形されて固定支持する、該接合端の抜け止め形状よりも大径の止め球とを備えたことを特徴とする工具吊り下げ用連結装置。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

(2) (1) 記載の工具吊り下げ用連結装置において、

前記端部同士を合わせ固定した接合端には接合固定塊が設けられループコードのインサートの抜け止め端を形成していることを特徴とする工具吊り下げ用連結装置。

(3) (2) 記載の工具吊り下げ用連結装置において、

前記抜け止め端の抜け止め形状である接合固定塊は溶接または半田付けにより、前記抜け止め端を異形または肥大化させたものであることを特徴とする工具吊り下げ用連結装置。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0029

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0029】

1 工具吊り下げ用連結装置

1 A ループコード

1 A 1 接合部

1 A 2 接合固定塊 (抜け止め端)

1 B 止め球

2 掛け止め具

T スパナ

G 隙間